

明るい選挙 啓発ポスターコンクール

令和5年度 全国優秀作品集



公益財団法人 明るい選挙推進協会

この冊子は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。



ごあいさつ

公益財団法人明るい選挙推進協会会長 佐々木 毅



民主政治は、国民の意思によって政治の在り方が決まる政治です。代表民主主義国家においては、選挙によって選ばれた代表によって政治が行われますが、主権は国民にあります。選挙は国民が政治に参加する最大の機会であり、民主主義の根幹をなすものです。

「明るい選挙」とは、有権者が主権者としての自覚を持って進んで投票に参加し、選挙が公明かつ適正に行われ、私たちの意思が正しく政治に反映される選挙のことです。

公益財団法人明るい選挙推進協会は、都道府県選挙管理委員会連合会との共催で、全国の小学校、中学校、高等学校の児童、生徒を対象に、令和5年度明るい選挙啓発ポスターコンクールを実施しました。御協力いただきました全国の選挙管理委員会・明るい選挙推進協議会及び教育委員会・学校の皆様に御礼申し上げますとともに、応募して下さった児童生徒の皆さんに感謝申し上げます。

このコンクールは、明るい選挙を実現するためのポスターを描くことで、将来の有権者である児童生徒の皆さんに選挙、政治への関心を持ってもらうきっかけとなることを目的としています。

令和元年度から新型コロナウイルス感染症の影響により、応募学校数、応募者ともに減少しましたが、本年度は応募学校数が7,903校、応募者数は106,342人となりました。

審査は、市区町村における第1次審査、都道府県における第2次審査、当協会における中央審査を経て、文部科学大臣・総務大臣賞（連名）18作品、公益財団法人明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長賞（連名）60作品を決定しました。都道府県、市区町村においても、それぞれ賞を設け、表彰式や展示会が行われました。

この作品集は、次回以降の作品募集に資するため、大臣賞・会長賞を一冊にまとめたものです。主権者教育の一環としても御活用いただければ幸いです。

目次

ごあいさつ	2
目次	3
令和5年度明るい選挙啓発ポスターコンクール審査評	4
文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 平田朝一	
令和5年度明るい選挙啓発ポスターコンクール作品募集要項	7
令和5年度明るい選挙啓発ポスターコンクール応募状況	8
全国優秀作品	
文部科学大臣・総務大臣賞	9
明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長賞	28

明るい選挙啓発ポスターコンクール 令和5年度 全国優秀作品集

発行日	令和6年1月26日
編集・発行	公益財団法人明るい選挙推進協会
住所	東京都千代田区一番町13-3 ラウンドクロス一番町7F
電話	03-6380-9891
ホームページ	http://www.akaruisenkyo.or.jp/

子どもたちの可能性を引き出す ポスターコンクールの意義

文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 平田 朝一

● はじめに ●

新型コロナウイルス感染症拡大の影響が少なくなってきたものの、今度はインフルエンザが全国的に広がり、学年や学級閉鎖の情報が伝わってきます。数年前に比べると少しずつ授業や学校行事などが、以前の状況に戻りつつあるのではないのでしょうか。そうした中で、子供たちのために日々の授業をよりよくしようと努力されている教職員の皆様方に対し、心から感謝申し上げます。

本コンクールには全国の小学校、中学校、高等学校から、106,342点の作品の応募がありました。今回このコンクールでの審査会では、小学校1年生から高校3年生までの幅広い年齢の作品を見させていただきました。応募作品はそれぞれの年齢での表現のよさがあり、どの作品も児童生徒が「明るい選挙」という共通のテーマを基に例年以上に独創性を発揮した力作ばかりでした。審査に当たってはどの年齢の作品を選ぶときも大変苦勞いたしました。

このような質の高い作品が多数応募され、このコンクールが長年にわたって続けられている背景には、主催者を始め関係者の方々の多大なご努力と、選挙啓発というテーマの重要性を理解して、ご指導いただいた保護者や学校の先生方等の多くの方々の支援があったからだと思います。今回のコンクールに応募した児童生徒は「明るい選挙」というテーマから自分の身の回りや社会に目を向け、自分自身が感じたことや考えたこと、選挙について学んだことなどから発想や構想をし、材料や用具を工夫したり試行錯誤したりしながらそれぞれの個性を生かして表現したことと思います。

図画工作や美術の学習において描くことを通して身に付けた資質・能力というものは生涯にわたって生きて働く力となるものであり、全ての児童生徒がそれぞれの発達の段階においてこれからの予測が困難な社会を生きる上でも身に付けてほしい資質・能力があります。このような児童生徒の資質・能力の育成とともに、よさや可能性、個性の伸張につながるポスターコンクールが今後も引き続き開催されることを心から願っております。

● 「表現したいこと」を見付ける ●

今次の学習指導要領が小学校と中学校では全面実施され数年が経ちました。高等学校では昨年度から年次で実施され、来年度で全て実施されることとなります。

小学校図画工作科の学習指導要領では、「指導計画の作成と内容の取扱い」に「(4)各学年の「A表現」の指導に当たっては、活動の全過程を通して児童が実現したい思いを大切にしながら活動できるようにし、自分のよさや可能性を見だし、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養うようにすること。」と示されています。児童が自分

の思いを大切にしながら、発想や構想をしたり、技能を働かせたりできるような指導をすることの重要性を示しています。

中学校美術科の学習指導要領では、主体的で創造的な表現の学習を重視し、「A表現」(1)において、「ア 感じ取ったことや考えたことを基にした発想や構想」及び「イ 目的や機能などを考えた発想や構想」の全ての事項に「主題を生み出すこと」を位置付け、表現の学習において、生徒自らが強く表したいことを心の中に思い描き、豊かに発想や構想をすることを重視して改善を図っています。この「主題を生み出すこと」とは、一人一人の生徒が強く表したいことを心の中に思い描くことです。この時期の生徒は、論理的に物事を考えたり様々な視点をもって判断したりするようになり、また、社会的な関心が深化し、他者との関係性の中で、個性や自己の内面性に対する意識が深まってくる反面、他者を意識するあまり表現することに抵抗感をもつこともあります。一方、表現の活動において、自分らしさについてこだわったり自己の課題について追求的な態度をとったりすることも多い。このような発達の特性を踏まえて、第2学年と第3学年の成長の違いも考慮しながら、自分らしさに自信をもちながら主題を生み出し、豊かに発想や構想ができるように指導することが必要です。

このように、児童生徒が、表したいことをしっかり見付けられるようにしていくことが大切です。

● 伝達の効果と美しさなどとの調和を総合的に考える ●

地域の街や駅などで、私たちは普段からポスターやマーク、ピクトグラムなどを見ることができます。このように我々は、デザインされたものに囲まれて生活していると言ってもいいのではないのでしょうか。これらは、見る人の立場に立って、例えば商品などの内容やイメージなどを分かりやすく効果的に伝えることができるように考えて作成されています。

中学校美術科の学習指導要領では、ポスターは「伝達を考えた発想や構想」に関する指導事項に関わってきます。「伝達を考えた発想や構想」は、伝達の効果と美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練ることが大切です。それは、情報や気持ちなどを分かりやすく美しく的確に伝えるという効果と美しさなどとの調和を考え、表現の構想を練ることです。より多くの人に分かりやすく美しく伝えるには、多様な表現方法の特性を理解して、多様な受け手の印象などを考えながら、「何のために」、「どのような内容を」、「どこで」、「どのような方法で」、「誰に伝えるか」などの目的や条件を基に、形や色彩などの伝達の効果と美しさを総合的に考えて構想することが重要です。そして、内容や雰囲気にもふさわしい構成や配色、文字の取り入れ方など、美的秩序がもたらす効果を捉えさせて発想や構想ができるようにしていくことも大切です。特に中学校の第2学年及び第3学年においては、伝える相手や内容、社会との関わりなど対象を広げ、生徒自らが強く表したいことを心の中に思い描き、自分の身近な存在だけでなく、より多くの人に分かりやすく美しく伝えるために多様な受け手の印象などから総合的に考え、表現の構想を練ることが重要です。

● おわりに ●

今年度も、小学校から中学校、高等学校までの素晴らしい作品と出会うことができました。伝えたいことや表したいことを、どのように表すか創造的に工夫された作品が多

く、その作品にしかない素晴らしいよさがありました。審査では、児童生徒の発達の段階を大切にし、その時期だからこそ感じ取ったり考えたりする姿を大切にしました。また、出来る限り児童生徒が表現に取り組む主体的な姿や、描くことを通して発揮した資質・能力を作品から読み取るように努力しました。全国審査に集まった作品は、全国各地の地方審査を通して、多くの審査員の心をつかんだ作品ばかりです。このような素晴らしい作品に出会えたことに感謝申し上げます。

令和5年度明るい選挙啓発ポスター 作品募集（第75回）要項

- ①趣旨** 私たちが豊かで幸せな生活をおくるには、立派な政治が行われなければなりません。その政治は選挙によって選ばれた人たちによって行われます。だから選挙が明るく正しく行われなければなりません。そこで、全国の児童、生徒の皆さんに、明るい選挙を呼びかける印象的なポスターをかいいていただきたいのです。
- ②応募規定**
- (1)内容
明るい選挙を呼びかけることを内容に、自由に表現してください。
 - (2)応募資格
小学校児童、中学校・高等学校の生徒
 - (3)募集期間
令和5年5月8日（月）から令和5年9月8日（金）まで
 - (4)締切日と提出先
令和5年9月8日（金）までにあなたの住んでいる市区町村または通学している学校のある市区町村の選挙管理委員会に提出してください。
※市区町村によって異なることがありますので、詳しくは最寄りの選挙管理委員会にお尋ねください。
 - (5)画材
描画材料は自由（紙や布など、絵の具材料だけに限りません）
 - (6)大きさの基準
画用紙の四ツ切（542mm×382mm）、八ツ切（382mm×271mm）もしくはそれに準じる大きさ
 - (7)応募上のご注意
 - ①他者の著作物（インターネット等にある写真やイラスト等）を模倣した作品は、応募できません。オリジナル作品に限ります。
 - ②作品のうら右下に、都道府県名、学校名、学年、氏名（ふりがな）を必ず記入してください。
 - ③応募作品は、原則として返却しません。
 - ④入賞作品の著作権は主催者に属し、作品は自由に利用させていただきます。
 - ⑤入賞者の学校名、学年及び氏名を公表させていただきます。
- ③審査**
- (1)第1次審査
各市区町村選挙管理委員会において、小・中・高別に選びます。
 - (2)第2次審査（地方審査）
各都道府県選挙管理委員会において、小・中・高別に応募数に応じ、所定の点数を選んだうえ、第3次審査（中央審査）へ提出します。
 - (3)第3次審査（中央審査）
第2次審査で選ばれた作品について、下記審査員により入賞作品を決定します。
文部科学省・総務省・公益財団法人明るい選挙推進協会・都道府県選挙管理委員会連合会の各代表審査員
- ④賞**
- (1)小・中・高別に次の賞を贈ります。
 - ①文部科学大臣・総務大臣（連名）の賞状と公益財団法人明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長（連名）からの副賞
小学校 各学年1名 中学校 各学年2名 高等学校 各学年2名
 - ②公益財団法人明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長（連名）の賞状と副賞
小学校・中学校・高等学校 各学年若干名
 - (2)第3次審査（中央審査）に提出された方全員に、公益財団法人明るい選挙推進協会会長から記念品を贈ります。
- ⑤発表** 11月初旬の予定

主催	公益財団法人明るい選挙推進協会	都道府県選挙管理委員会連合会
	都道府県選挙管理委員会	市区町村選挙管理委員会
後援	文部科学省 総務省	都道府県教育委員会 市区町村教育委員会

公益財団法人明るい選挙推進協会ホームページ <http://www.akaruisenkyo.or.jp/>
都道府県選挙管理委員会連合会ホームページ <http://www.todofuken-senkan.jp/>

令和5年度明るい選挙啓発ポスターコンクール (第75回) 応募状況

都道府県	応募学校数				応募者数				中央審査提出数				
	小学校	中学校	高等学校	計	小学校	中学校	高等学校	計	小学校	中学校	高等学校	計	
北海道・東北	北海道	30	28	5	63	475	266	73	814	5	3	5	13
	青森県	11	18	6	35	117	103	47	267	3	3	5	11
	岩手県	38	31	6	75	648	169	118	935	6	3	9	18
	宮城県	76	46	3	125	248	287	19	554	3	3	2	8
	秋田県	8	16	6	30	25	76	33	134	3	3	4	10
	山形県	86	50	6	142	731	898	44	1,673	7	7	5	19
	福島県	33	34	6	73	165	376	22	563	3	4	3	10
関東甲信越静岡	茨城県	198	125	10	333	1,307	1,502	23	2,832	10	10	3	23
	栃木県	177	83	3	263	1,283	619	20	1,922	9	6	2	17
	群馬県	156	134	3	293	1,838	3,840	171	5,849	11	18	1	30
	埼玉県	336	151	18	505	4,099	2,053	174	6,326	18	12	11	41
	千葉県	219	115	10	344	1,020	773	27	1,820	9	7	3	19
	東京都	443	324	47	814	4,882	9,467	806	15,155	20	29	27	76
	神奈川県	164	71	14	249	1,365	547	100	2,012	10	6	8	24
	山梨県	95	46	4	145	2,051	1,570	35	3,656	12	10	4	26
	長野県	167	38	5	210	3,912	366	13	4,291	18	4	2	24
	新潟県	44	18	2	64	243	85	4	332	3	3	1	7
	静岡県	142	106	16	264	1,234	777	256	2,267	9	7	5	21
東海・北陸	富山県	40	47	6	93	177	465	27	669	3	5	3	11
	石川県	18	13	3	34	52	156	68	276	3	3	6	12
	福井県	72	39	1	112	579	943	34	1,556	6	8	4	18
	岐阜県	96	56	6	158	581	384	107	1,072	6	4	9	19
	愛知県	675	307	22	1,004	4,369	5,290	775	10,434	19	21	26	66
	三重県	59	35	2	96	836	668	4	1,508	7	6	1	14
近畿	滋賀県	24	18	1	43	58	294	4	356	3	3	1	7
	京都府	56	32	2	90	448	375	113	936	5	4	7	16
	大阪府	128	56	11	195	2,617	2,612	449	5,678	14	14	19	47
	兵庫県	241	140	12	393	1,443	3,184	205	4,832	10	16	12	38
	奈良県	28	10	4	42	197	285	22	504	3	3	3	9
	和歌山県	8	11	8	27	186	84	114	384	3	3	9	15
中国	鳥取県	5	10	4	19	8	166	45	219	3	3	5	11
	島根県	9	18	7	34	749	107	12	868	7	3	2	12
	岡山県	28	32	3	63	60	350	26	436	3	4	3	10
	広島県	37	37	11	85	997	938	57	1,992	5	5	5	15
	山口県	71	30	7	108	183	180	28	391	3	3	3	9
四国	徳島県	65	40	5	110	427	680	22	1,129	5	6	3	14
	香川県	67	42	5	114	375	416	173	964	4	5	11	20
	愛媛県	107	62	15	184	528	862	122	1,512	6	7	9	22
	高知県	8	14	3	25	65	123	93	281	3	3	8	14
九州	福岡県	166	93	11	270	8,183	6,212	122	14,517	24	20	6	50
	佐賀県	52	24	7	83	344	271	75	690	4	3	7	14
	長崎県	50	38	13	101	107	366	105	578	3	4	9	16
	熊本県	59	14	3	76	150	110	4	264	3	3	1	7
	大分県	42	22	3	67	412	350	89	851	5	4	7	16
	宮崎県	61	26	4	91	303	138	16	457	4	3	2	9
	鹿児島県	39	51	7	97	167	710	19	896	3	7	2	12
	沖縄県	25	28	9	62	347	253	90	690	4	3	7	14
合 計	4,759	2,779	365	7,903	50,591	50,746	5,005	106,342	330	314	290	934	

※昨年度応募者数 116,776

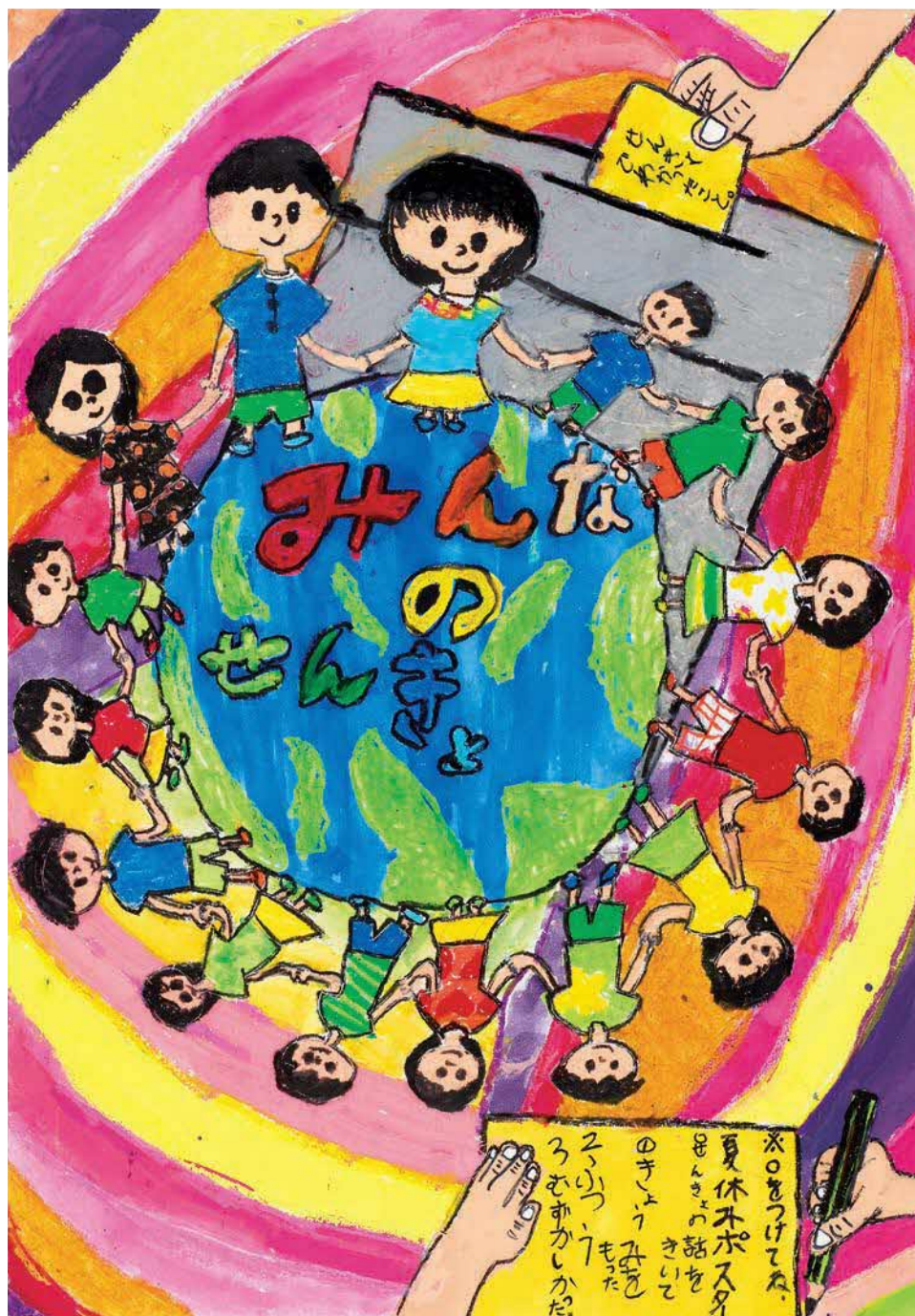
文部科学大臣・総務大臣賞（18人）

学年	都道府県	氏名	学校名
小学1年生	埼玉県	石井 友晴	幸手市立長倉小学校
小学2年生	沖縄県	安里 笑実	宮古島市立平良第一小学校
小学3年生	愛知県	加藤 百華	名古屋市立猪高小学校
小学4年生	鹿児島県	高山 杏奈	日置市立伊作田小学校
小学5年生	滋賀県	守 菜々美	守山市立守山小学校
小学6年生	愛知県	矢筈原 愛華	一宮市立北方小学校
中学1年生	香川県	井内 みやび	さぬき市立長尾中学校
	福岡県	砂場 春乃	糟屋郡粕屋町立粕屋中学校
中学2年生	東京都	佐藤 志真	羽村市立羽村第三中学校
	愛媛県	白谷 椿	松山市立南第二中学校
中学3年生	岩手県	八重樫 仁歩	北上市立北上中学校
	東京都	宇田 晴輝	江戸川区立清新第一中学校
高校1年生	東京都	平田 一瑠	都立工芸高等学校 定時制課程
	岡山県	西山 侑良	県立岡山工業高等学校
高校2年生	島根県	高橋 美桜	県立出雲高等学校
	香川県	林 純菜	県立高松工芸高等学校
高校3年生	秋田県	田口 穂乃花	県立角館高等学校
	福島県	佐藤 夏輝	尚志高等学校 単位制・通信制課程



小学校1年生 石井 友晴 埼玉県 幸手市立長倉小学校

両手を大きく広げている人たちと一緒に、動物や小鳥などが楽しそうに選挙に向かっていく笑顔が印象的な作品です。空には虹があり「みんなでせんきょへ行こう」の言葉と合わせ、画面全体から明るい雰囲気が伝わってくる作品です。



小学校2年生 安里 笑実 沖縄県 宮古島市立平良第一小学校

地球の周りで手をつないだ人たちと「みんなのせんきょ」という文字、そして、画面の端には、選挙に関するアンケートのような紙もあります。選挙について学んだ経験から、選挙がみんなに大切であることが伝わってくる作品になっています。



小学校3年生 加藤 百華 愛知県 名古屋市立猪高小学校

みんなで音楽を奏でる姿と、様々な色の用紙が投票箱に集まっている様子が描かれています。「一ぴょうが大きな力に」の言葉からも、一人一人の票が明るい未来につながっていくことが伝わってくる作品になっています。



小学校4年生 高山 杏奈 鹿児島県 日置市立伊作田小学校

投票用紙を投票箱に入れている姿の後ろに、大きなひまわりが咲き、様々な色の建物が描かれています。「明るい選挙」の文字とともに、虹の上で手をつなぐ人たちの姿があり、投票することで、明るい未来につながっていく様子が想像できるような作品です。



小学校5年生 守 菜々美 滋賀県 守山市立守山小学校

「選挙へ行って笑顔の花さくまちにしよう」の文字の周りには、笑顔で投票する人や花が、投票箱の前には、赤ちゃんからお年寄り、様々な職業の方々が描かれています。投票することで明るい未来につながっていくことが伝わってきます。



小学校6年生 矢筈原 愛華 愛知県 一宮市立北方小学校

画面の上から様々な色の投票用紙が降り、下の投票箱に入っています。そこから芽が出て、中央には大きな町が出来上がりつつあります。「未来を咲かせるあなたの一票」という文字からも、選挙で町が明るくなっていくことが伝わってきます。



中学校1年生 井内 みやび 香川県 さぬき市立長尾中学校

投票箱が擬人化され、その表情からは強い意志が感じられます。スーツが道に変わりネクタイが家の色と重なるなどユニークな作品です。「君の1票が街をつくる」という言葉からも、投票することが町の未来につながっていくことが伝わってきます。



中学校1年生 砂場 春乃 福岡県 糟屋郡粕屋町立粕屋中学校

制服姿の高校生が、まさに今、靴紐を結ぶ様子と「選挙行ってきます」という言葉からも、意志をもって選挙に向かおうというメッセージが伝わってきます。あえて顔を画面に入れず、字も手書き風にするなど工夫された作品です。



中学校2年生 佐藤 志真 東京都 羽村市立羽村第三中学校

画面いっぱいに描かれた街の風景。赤ちゃんからお年寄り、様々な職業の人々が日常生活を送っている様子が描かれています。画面中央の建物には「明るい未来へ 投票しよう」の文字が立体的に描かれています。投票が未来につながっていることが伝わってきます。



中学校2年生 白谷 椿 愛媛県 松山市立南第二中学校

「ばあちゃん 今から 選挙行こや!」の言葉からも、中央でつないでいる手は、おばあさんとその孫の手であることが想像できます。背景には画面いっぱいの花が描かれています。幅広い年齢の方に選挙に興味をもってもらえる温かみのある作品になっています。



中学校3年生 八重樫 仁歩 岩手県 北上市立北上中学校

手に投票用紙を握りしめ、その表情は未来を見つめているかのようです。「あなたも未来を選択する一人」の言葉と、投票用紙の周りに描かれた様々な方向へ向く矢印からも、投票が未来につながっていることが伝わってきます。



中学校3年生 宇田 晴輝 東京都 江戸川区立清新第一中学校

高校生が乗っている自転車のかごには赤ちゃんや家族の写真と投票用紙が描かれています。「18歳 私の一票に 未来をのせて」の文字からも、一票が明るい未来につながっていることを見る人の目線と考えさせてくれる作品になっています。



高校1年生 平田一瑠 東京都 都立工芸高等学校 定時制課程

未来行きの電車のモニターには、選挙の駅に間もなく到着する状況が描かれ、「選挙へのドアが開きます」と18の文字が見えます。「未来への路線は君が決める」の言葉からも、未来に向けよく考えて、選挙に行こうというメッセージが伝わってくる作品です。



高校1年生 西山 侑良 岡山県 県立岡山工業高等学校

拡声器からは、「若者の声を届ける選挙」の文字があります。その文字の回りにはオレンジ色の線をつけ、文字の手前を大きくするなど、言葉が見る人に迫ってくるよう工夫されています。若者の声を届けるためにも選挙に行こうというメッセージが伝わる作品になっています。



高校2年生 高橋 美桜 島根県 県立出雲高等学校

画面中央の学生が持つ鉛筆と眼鏡のような8の文字で「18」歳が表されています。「よく見て、18歳 よく考えて。」の言葉からも、選挙についてよく考えて投票に行こうというメッセージが伝わってくる作品になっています。



高校2年生 林 純菜 香川県 県立高松工芸高等学校

青い色で表されたたくさんの人々の中で、黄色で描かれた手を挙げる人が描かれています。「その一票で意思表示」の言葉からも、しっかり考えて、投票して明るい未来につなげようというメッセージが伝わってくる作品になっています。



高校3年生 田口 穂乃花 秋田県 県立角館高等学校

投票用紙を持つ女性が、笑顔でやさしく微笑んでいます。将来について考えているのでしょうか。「選挙に参加できる、投票できるってうれしい」の言葉からも、選挙に行くことが明るい未来を創造することにつながっているというメッセージが伝わってきます。



高校3年生 佐藤 夏輝 福島県 尚志高等学校 単位制・通信制課程

日常の生活を切り取って、電車に乗る光景を描いています。改札口が投票箱となり、ホームの電車は輝いています。「選挙は未来への改札口」という言葉からも、選挙が未来へつながっていることが伝わってくる作品です。

公益財団法人明るい選挙推進協会会長・ 都道府県選挙管理委員会連合会会長賞（60人）

学年	都道府県	氏名	学校名
小学1年生	熊本県	茅野 凜	宇城市立豊川小学校
	大分県	水之江 莉々菜	豊後高田市立高田小学校
小学2年生	福井県	加賀 千遥	福井市木田小学校
	山口県	福永 結菜	宇部市立船木小学校
小学3年生	山梨県	樋口 愛依	甲府市立大國小学校
	京都府	鈴木 絢子	綴喜郡井手町立多賀小学校
小学4年生	兵庫県	藤尾 杏珠	姫路市立城西小学校
	福岡県	山本 彦希	糟屋郡須恵町立須恵第二小学校
小学5年生	栃木県	高野 希彩	さくら市立南小学校
	愛知県	吉田 琉椛	津島市立神守小学校
	香川県	篠原 優希	観音寺市立豊浜小学校
	福岡県	福永 駿介	福岡市立塩原小学校
小学6年生	山形県	高橋 ツクシ	山形市立南沼原小学校
	群馬県	戸塚 紫歩	前橋市立山王小学校
	東京都	川原 万里奈	西多摩郡日の出町立本宿小学校
	長野県	坂本 晶	小諸市立野岸小学校
	新潟県	伊藤 花音	新潟市立牡丹山小学校
	三重県	稲垣 琉花	四日市市立八郷小学校
	兵庫県	村井 彩	小野市立小野小学校
	山口県	今津 結音	長門市立油谷小学校
	香川県	山本 桜瑚	観音寺市立粟井小学校
中学1年生	東京都	松本 明佳	昭和女子大学附属昭和中学校
	長野県	井出 そら	佐久市立臼田中学校
	長野県	酒井 麗	中野市立南宮中学校
	徳島県	南 あかり	鳴門教育大学附属中学校
	福岡県	一ノ宮 奈々	糟屋郡宇美町立宇美南中学校

学年	都道府県	氏名	学校名
中学2年生	茨城県	高木 彩葉	つくばみらい市立小絹中学校
	東京都	大倉 楓恋	江東区立亀戸中学校
	愛知県	安藤 希	稲沢市立稲沢西中学校
	大阪府	川島 梨乃	大阪市立北稜中学校
	兵庫県	高橋 咲衣	姫路市立東光中学校
	奈良県	元村 玖瑠海	葛城市立新庄中学校
	福岡県	安陪 華子	大牟田市立宅峰中学校
	沖縄県	呉屋 心花	中頭郡西原町立西原中学校
中学3年生	埼玉県	千種 桃羽	日高市立高麗川中学校
	静岡県	野村 梨心	県立清水南高等学校中等部
	富山県	松本 朱音	射水市立小杉中学校
	岐阜県	中村 日南	養老郡養老町立東部中学校
	大阪府	大前 ななみ	大阪市立都島中学校
	岡山県	栗原 寧々	倉敷市立北中学校
	福岡県	今任 宏翔	糟屋郡久山町立久山中学校
高校1年生	山形県	高橋 彩華	県立上山明新館高等学校
	埼玉県	小泉 優	埼玉栄高等学校
	埼玉県	砂川 まりな	県立大宮光陵高等学校
	埼玉県	東郷 静香	県立芸術総合高等学校
	東京都	安藤 百渚	大妻中野高等学校
	石川県	直江 美月	小松市立高等学校
	香川県	湯浅 葵乃	県立高松工芸高等学校
高校2年生	東京都	内田 もも	玉川聖学院
	大阪府	市橋 こまち	府立工芸高等学校
	大阪府	坂本 心咲	好文学園女子高等学校
	大阪府	嶺井 マリア 由未	好文学園女子高等学校
	大阪府	由肥 真知	府立工芸高等学校
	和歌山県	楠部 寧	和歌山市立和歌山高等学校
	香川県	田中 遥琉	県立高松工芸高等学校
高校3年生	神奈川県	杉本 李実	県立津久井支援学校高等部
	兵庫県	盛岡 瑚乙	県立姫路工業高等学校
	京都府	永田 朱里	京都精華学園高等学校
	島根県	大久保 李香	県立松江商業高等学校
	香川県	林 愛深	県立高松工芸高等学校



熊本県 小学1年生 茅野 凛
宇城市立豊川小学校



小学1年生 水之江 莉々菜
大分県 豊後高田市立高田小学校



小学2年生 加賀 千遥
福井県 福井市木田小学校



小学2年生 福永 結菜
山口県 宇部市立船木小学校



山梨県 小学3年生 樋口 愛依
甲府市立大國小学校



京都府 小学3年生 鈴木 絢子
綴喜郡井手町立多賀小学校



兵庫県 姫路市立城西小学校
小学4年生 藤尾 杏珠



福岡県 糟屋郡須恵町立須恵第二小学校
小学4年生 山本 彦希



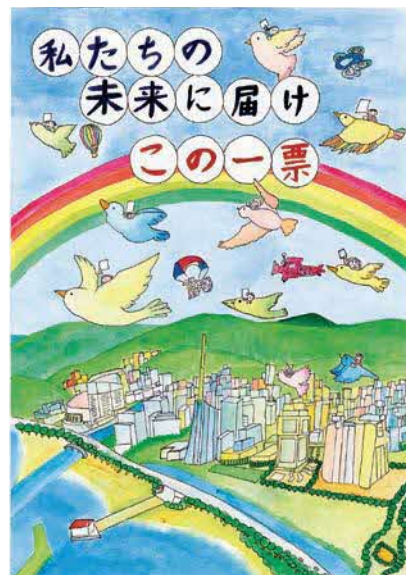
栃木県 さくら市立南小学校
小学5年生 高野 希彩



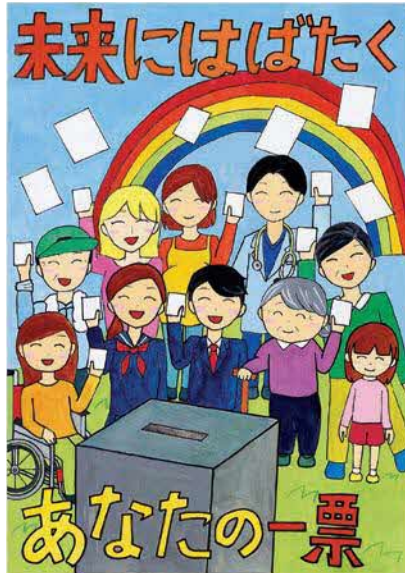
愛知県 津島市立神守小学校
小学5年生 吉田 琉椛



小学5年生 篠原 優希
香川県 観音寺市立豊浜小学校



福岡県 福岡市立塩原小学校
小学5年生 福永 駿介



山形県 小学6年生 高橋 ツクシ
山形市立南沼原小学校



群馬県 小学6年生 戸塚 紫歩
前橋市立山王小学校



東京都 小学6年生 川原 万里奈
西多摩郡日の出町立本宿小学校



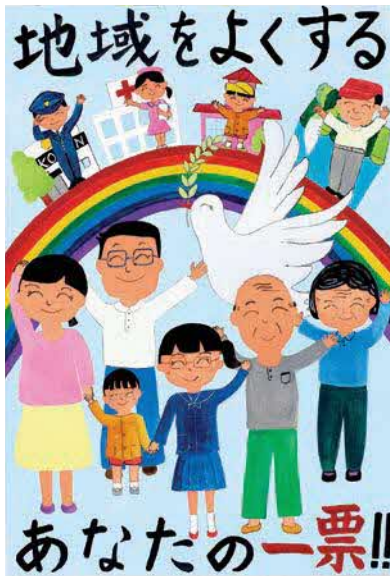
長野県 小学6年生 坂本 晶
小諸市立野岸小学校



新潟県 小学6年生 伊藤 花音
新潟市立牡丹山小学校



三重県 小学6年生 稲垣 琉花
四日市市立八郷小学校



兵庫県 小学6年生 村井 彩
小野市立小野小学校



山口県 小学6年生 今津 結音
長門市立油谷小学校



香川県 小学6年生 山本 桜瑚
観音寺市立粟井小学校



東京都 中学1年生 松本 明佳
昭和女子大学附属昭和中学校



長野県 中学1年生 井出 そら
佐久市立白田中学校



長野県 中学1年生 酒井 麗
中野市立南宮中学校



徳島県 中学1年生 南 あかり
鳴門教育大学附属中学校



福岡県 中学1年生 一ノ宮 奈々
糟屋郡宇美町立宇美南中学校



中学2年生 高木 彩葉
茨城県 つくばみらい市立小絹中学校



東京都 中学2年生 大倉 楓恋
江東区立亀戸中学校



愛知県 中学2年生 安藤 希
稲沢市立稲沢西中学校



大阪府 中学2年生 川島 梨乃
大阪市立北稜中学校



兵庫県 姫路市立東光中学校
中学2年生 高橋 咲衣



奈良県 葛城市立新庄中学校
中学2年生 元村 玖瑠海



福岡県 大牟田市立宅峰中学校
中学2年生 安陪 華子



沖縄県 中頭郡西原町立西原中学校
中学2年生 呉屋 心花



埼玉県 日高市立高麗川中学校
中学3年生 千種 桃羽



静岡県 県立清水南高等学校中中部
中学3年生 野村 梨心



富山県 射水市立小杉中学校
 中学3年生 松本 朱音



岐阜県 養老郡養老町立東部中学校
 中学3年生 中村 日南



大阪府 大阪市立都島中学校
 中学3年生 大前 ななみ



岡山県 倉敷市立北中学校
 中学3年生 栗原 寧々



福岡県 糟屋郡久山町立久山中学校
 中学3年生 今任 宏翔



山形県 県立上山明新館高等学校
 高校1年生 高橋 彩華



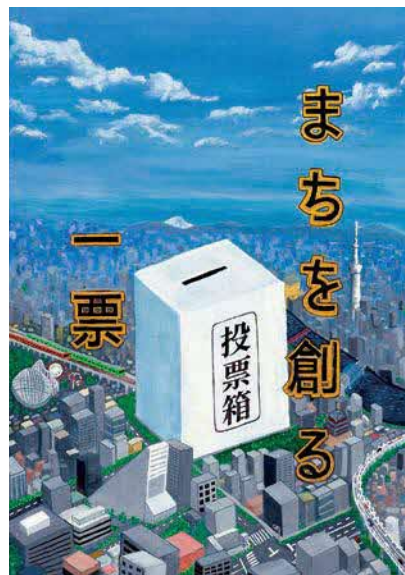
高校1年生 小泉 優
埼玉県 埼玉栄高等学校



高校1年生 砂川 まりな
埼玉県 県立大宮光陵高等学校



高校1年生 東郷 静香
埼玉県 県立芸術総合高等学校



高校1年生 安藤 百渚
東京都 大妻中野高等学校



高校1年生 直江 美月
石川県 小松市立高等学校



高校1年生 湯浅 葵乃
香川県 県立高松工業高等学校



高校2年生 内田 もも
東京都 玉川聖学院



高校2年生 市橋 こまち
大阪府 府立工芸高等学校



高校2年生 坂本 心咲
大阪府 好文学園女子高等学校



高校2年生 嶺井 マリア 由未
大阪府 好文学園女子高等学校



高校2年生 由肥 真知
大阪府 府立工芸高等学校



高校2年生 楠部 寧
和歌山県 和歌山市立和歌山高等学校



香川県 高校2年生 田中 遥琉
県立高松工芸高等学校



神奈川県 高校3年生 杉本 李実
県立津久井支援学校高等学校



兵庫県 高校3年生 盛岡 瑚乙
県立姫路工業高等学校



高校3年生 永田 朱里
京都府 京都精華学園高等学校



島根県 高校3年生 大久保 李香
県立松江商業高等学校



高校3年生 林 愛深
香川県 県立高松工芸高等学校

いちりんしゃ
一輪車も!



ゆうぐ
遊具も!

ベンチも!



宝くじは、
みんなの暮らしに
役立っています。



バス停も!



さくら
桜も!



消防の車も!

宝くじは、図書館や動物園、
学校や公園の整備をはじめ、
災害に強い街づくりまで、
みんなの暮らしに役立っています。



一般財団法人日本宝くじ協会は、宝くじに関する調査研究や
公益法人等が行う社会に貢献する事業への助成を行っています。

一般財団法人
日本宝くじ協会
<https://jla-takarakuji.or.jp/>